

学校だより

# 東泉丘

令和5年(2023年)夏休み号  
全児童数 620人(7/1現在)  
豊中市立 東泉丘 小学校  
校長 河上 洋介



## 1 学期を振り返って

保護者の皆様のご理解、ご協力のおかげをもちまして、1学期の教育活動を無事に終えることができました。ありがとうございます。5月8日に新型コロナウイルスがインフルエンザ等と同じ5類に分類され、3年前に始まった感染防止対策をしながらの生活は、ひとまず終わりを迎えました。3年の間、感染防止対策をしつつ学校の教育活動を進めるにあたって、保護者の皆様には、たくさんのご協力をいただきました。特に、学校行事の実施にあたっては、人数制限や校舎内の一方通行、手指の消毒等、ご不便をおかけしたことも多くあったと思います。ご協力ありがとうございました。2年前の11月に、音楽会を発表型の参観に形を変えて実施したときには、クラスを3分割し10分ずつの発表をしました。お家の人を見つけて嬉しくてはりきって発表していた子どもたちの姿を今でもはっきりと覚えています。保護者の皆様のご協力があったからこそ、笑顔だったと思っています。また、子どもたちにとっては、この3年間は、日常の当たり前と思っていた生活が新型コロナによって急に様々に制限され、見通しが持てない中、不安を感じる日々が続く毎日だったと思います。ご家庭では、お子様の気持ちに寄り添いながら、お子様を励ましてくださっていたことと思います。改めてお礼申し上げます。

学校の教育活動が通常通りとなり、少しずつ、日常が戻ってきたと感じています。例えば、全校朝会の日が雨だった場合、これまでは放送朝会になっていましたが、2学期からは体育館に集まって行きます。6月から始まった水泳の授業では、プールサイドでバディの確認をするときに、手をつないで上にあげ、順番に大きな声で「1!」「2!」と確認していました。昨年は、少しでも接触を避けるために、手をつなぐずにバディを確認していたのです。それから、別途お知らせしているとおり、9月の参観を2日に分けて1日で実施します。詳細はお知らせを確認ください。一方で、全ての行事等がコロナ前にそのまま元通りにはならないとも考えています。例えば、学校だより4月号にてお伝えしている通り、新型コロナウイルスの影響により中止が続いていたマラソン大会は、今後実施しません。体育の授業の中で体づくりの一環として時間を決めた持久走の学習を実施します。ご理解くださいますようお願いいたします。

さて、本校では、今年度もめざす子ども像を「伝え合い 認め合い 高め合い 3つの合い(愛)」としています。4月の始業式で、子どもたちには、1学期は特に「伝え合い」について考えてほしいと伝えました。「伝え合い」について考える時、子どもたちに大切にしてほしいことは、「気持ちのよいあいさつ」「思いやりのある言葉」だと話をしました。あいさつや、思いやりのある言葉が増えてくると、学習や話し合いの中でも意見が言いやすい雰囲気になります。そして、自分の考えや気持ちをお互いに伝え合える学校になると思ってい

ます。1学期を振り返って、「伝え合い」について子どもたち一人一人がそれぞれに考えることができたらうれしく思います。

明日から子どもたちが楽しみにしている夏休みが始まります。子ども達が規則正しい生活を送れるよう、ご家庭での配慮をお願いします。食事を3食しっかりと食べること、睡眠を十分にとること等、規則正しい生活は、感染症対策や熱中症対策の基本でもあります。時間を決めて家庭学習をすることも大切です。夏休み前に学校でも子どもたちに話をしますが、ご家庭でも夏休みの過ごし方についてお子様と話し合ってください。また、夏休みにはぜひお子様といっしょに読書に親しんでください。

## ドキドキ！おはなしタイム等について

6月23日（金）の朝の時間を使ってドキドキ！おはなしタイムを実施しました。これは、教職員が絵本の読み聞かせを行うことで、子どもたちが本に親しむことを目的とした取組みです。年に3回あり、2回目は9月1日、3回目は1月26日に予定しています。また、平和学習として、7月の2週目に平和に関する絵本の読み聞かせを各クラスで実施しました。そのときに読んだ絵本の題名を紹介します。

平和学習	
1年	そしてトンキーもしんだ
2年	ちいちゃんのかげおくり
3年	へいわってどんなこと
4年	8月6日のこと
5年	いわたくんちのおばあちゃん
6年	対人地雷カンボジア



校長も、6月と7月の全校朝会で絵本の読み聞かせをしました。6月には「あかいほppetた」というベルギーの絵本を読みました。主人公は、トムをいじめているパウルがこわくて、どうしても「やめて！」といえませぬ。この絵本を訳した野坂悦子さんの解説をネットで見つけたので紹介します。「こわくて、いじめを止めに入れないという気持ちは、どの国でも同じ。呪いのように人を縛り、簡単には解けないものだと強く感じました。しかしこの本の主人公は、とうとうある日、いじめを止めようと、教室で手をあげます。絵の背景は目がくらむほど強烈な「赤」。心臓が破裂しそうな緊張、恐怖、迷い、でも私がやらなくちゃ、という決意がすべてこめられています。（中略）大切なのは、いじめの傍観者である自分に気がつくこと。呪縛を破り、一步まえへ踏み出すための小さな勇気を持つこと。」

## <連絡やお願い>

- ・学校日より6月号でお知らせしたとおり、本日は通知表をお渡ししていません。年間2回お渡しするうち、1回目は9月25日（月）を予定しています。
- ・今年度の夏季休業中の学校の閉庁日は、8月14日（月）と15日（火）の平日2日間です。来客や電話の対応はできません。

本校の目指す学校像「ひとりひとりが輝く楽しい学校」

目指す子ども像「伝え合い 認め合い 高め合い 3つの合い（愛）」